

国立大学法人お茶の水女子大学

2014年度 新任教職員研修 ～国立の女子大学としての本学の使命と 皆様への期待～

学 長

羽入 佐和子



内 容

I お茶の水女子大学の規模

II 本学の歴史

①創設

②名称の変遷

③法人化と法人法

III 国立大学法人お茶の水女子大学の社会的責任

①ミッションと中期目標・中期計画

②本学が果たすべき役割

③教育の理念とキャンパスの理念

☆ 本学の使命と皆様への期待

I お茶の水女子大学の規模

■学部 ※()は2014年4月1日現在の学生数 2060名

文教育学部 4学科(927名)

理学部 5学科(556名)

生活科学部 3学科(577名)

■大学院人間文化創成科学研究科 895名

博士前期課程 (491名)

博士後期課程 (404名)

※ ほぼ3人に1人が大学院生

■附属学校園 約1600名

附属高等学校、附属中学校、附属小学校、
附属幼稚園、いずみナーサリー

◆大学教員数(専任) 約200名

◆附属学校教員数(専任) 約90名

◆事務職員数(専任) 約100名

□後援会、同窓会

※ 一つのキャンパスで多様な多世代の交流

Ⅱ 本学の歴史 ①創設

- 東京女子師範学校(お茶の水女子大学の前身)創立の経緯

木戸孝允(文部卿)の布達

明治7年3月

女子の教育が男子と優劣の差が生じることのないよう女子師範学校を設ける

(文部少輔による太政大臣宛設立建議書[明治7年1月]を受けての布達)



「女性の力を、もっと世界に。」
(2012年グローバル人材育成推進事業標語)



木戸孝允肖像画

- 1875(明治 8)年 御茶ノ水(現文京区湯島)の地に、我が国最初の女性の高等教育機関として東京女子師範学校創立



1923(大正12)年 関東大震災のため、校舎焼失

- **大学の移転 1932(昭和 7)年**
現在地(文京区大塚)の新校舎に移転



大学の歴史 ②名称の変遷

- 1875(明治 8)年 東京女子師範学校創立
- 1885(明治18)年 東京師範学校女子部
- 1886(明治19)年 高等師範学校女子部
- 1890(明治23)年 女子高等師範学校
- 1908(明治41)年 東京女子高等師範学校

※[大学の移転 1932(昭和7)年]

- 1949(昭和24)年 お茶の水女子大学設置
- 2004(平成16)年 国立大学法人
お茶の水女子大学

大学の歴史 ③法人化と国立大学法人法

法の概要

- 国立大学を各大学ごとに法人化し、国立大学法人を設立
- 大学共同利用機関を再編の上法人化し、大学共同利用機関法人を設立

[国立学校設置法]

国立大学(99(短大含む))
大学共同利用機関(15)



[国立大学法人法]

国立大学法人(89法人)
大学共同利用機関法人(4法人)

・人間文化研究機構 ・情報・システム研究機構
・自然科学研究機構 ・高エネルギー加速器研究機構

施行日等

- 国立大学法人の設立は、平成16年4月1日
- 法律の施行日は、平成15年10月1日

Ⅲ 国立大学法人お茶の水女子大学の社会的責任

① ミッションと中期目標・中期計画

「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する。」

[第二期中期目標] 2010(平成22)～2015(平成27)年

- 女子高等教育の継承と国際的発展
- 大学院課程の充実と国際的研究拠点の形成
- 新たな学士課程教育の構築
- 附属学校と連携した統合的な教育組織の構築
- 社会的、国際的貢献の促進



文部科学省国立大学改革プラン2013年11月

1. 国立大学改革プランの位置付け

国立大学法人スタート

《国立大学法人化の意義》

- ・自律的・自主的な環境の下での国立大学活性化
- ・優れた教育や特色ある研究に向けてより積極的な取組を推進
- ・より個性豊かな魅力ある国立大学を実現

※大学共同利用機関法人も同時にスタート

第1期 中期目標期間 (平成16～21年度)

新たな法人制度
の「始動期」

第2期中期目標期間 (平成22～27年度)

法人化の長所を生かした改革を本格化

今後の国立大学の機能強化に向
けての考え方 (平成25年6月)

国立大学を取り巻く環境の変化

- ・グローバル化
- ・少子高齢化の進展
- ・新興国の台頭などによる競争激化
など

改革加速期間

- グローバル化
- イノベーション機能強化
- 人事・給与システムの弾力化

ミッションの再定義

国立大学改革プラン

自主的・自律的な改善・
発展を促す仕組みの構築

第3期 中期目標期間 (平成28年度～)

持続的な“競争
力”を持ち、高
い付加価値を生
み出す国立大学
へ

平成16年度
(2004年4月)

平成22年度
(2010年4月)

平成25年度
(2013年4月)

平成28年度
(2016年4月)

②本学が果たすべき役割

男女平等(ジェンダー・ギャップ)指数ランキング・国別順位

- 1位 アイスランド
- 2位 フィンランド
- 3位 ノルウェー
- 4位 スウェーデン
- 5位 フィリピン

日本は105位(前年101位)

世界経済フォーラム報告(2013年10月25日)

アジアの中で最上位はフィリピン:世界5位(教育、経済参加などのスコアが高い)

中国69位、韓国111位、インド101位

[測定指標(4分野の男女格差を測定)]

- **Economic Participation and Opportunity(経済活動の参加と機会)**
給与、参加レベル、および専門職での雇用
- **Educational Attainment(教育)**
初等教育や高等・専門教育への就学
- **Health and Survival(健康と生存)**
寿命と男女比
- **Political Empowerment(政治への関与)**
意思決定機関への参画

③ 教育の理念とキャンパスの理念

1) 教育の理念:「知識」・「見識」・「寛容」

- ・リーダーシップ教育

 - 「知性」・「心遣い」・「しなやかな強さ」

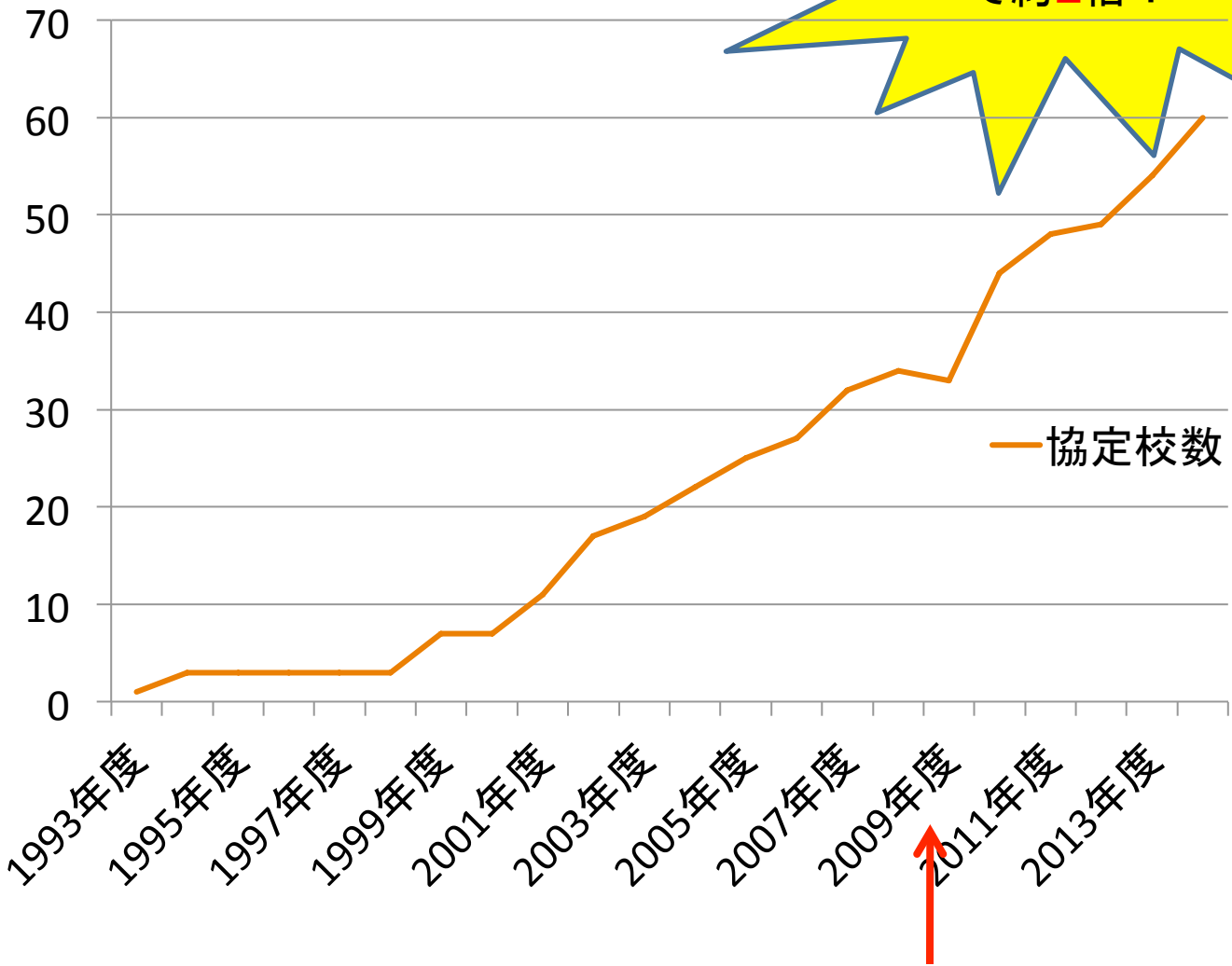
- ・グローバル教育

2) キャンパスの理念:「共に在ること」

- ・三つのコモンズ

国際交流協定校 推移

※2009～2014年で約2倍！



三つのコモンズ

(1) 附属図書館 Learning Commons (2007年)

- ・共に学び、共に成長する



(2) お茶大 Students Community Commons (2011年)

- ・共に住まい、共に学び、共に成長する



(3) Language Study Commons(2014年)

☆ 本学の使命と皆様への期待

- グローバル女性リーダーの育成
「女性の力を、もっと世界に。」
 - グローバル人材育成推進事業（2012年～）
 - 博士課程教育リーディングプログラム（2013年～）
- 最も伝統のある国立の女子大学として、お茶の水女子大学が、その使命を果たし、豊かな未来を創るために、皆様のもてる力を存分に発揮していただきますように。



◎ 2015年、本学は創立140周年を迎えます！



ご清聴有り難うございました。

